

平成30年度九州大学大学院法学府  
修士課程入学試験問題（春季）

行政法

次のⅠ～Ⅲそれぞれの中から1問を選択して全部で3問の質問に解答してもらいます。時間配分に注意して解答してください。

Ⅰ 次の〔問〕の(1)～(3)の中から1問を選んで答えなさい。解答には、(1)～(3)のどの〔問〕を選択したのか分かるように、〔問〕の番号を付しなさい。

(30点)

〔問〕

- (1) 行政法において、「法治主義」と「法の支配」が語られる場合の両者の意義と関係について、論じなさい。
- (2) ある許認可等の審査基準について行政手続法第39条の意見公募手続が必要となる場合に、その意見公募手続を経ないで設定した審査基準に基づいてした許認可等を拒否する処分の効力について、論じなさい（当該審査基準は、公にされているものとする）。当該処分について、この問の解答では「拒否処分」と略して記載してよい。
- (3) 行政指導の相手方が指導に応じない場合に、その行政指導を行った行政機関が、法律に個別具体的な根拠規定がないにもかかわらず、その者の行政指導不服従に関する事実を公表することの行政法上の問題について、論じなさい。

Ⅱ 次の〔問〕の(4)～(6)の中から1問を選んで答えなさい。解答には、(4)～(6)のどの〔問〕を選択したのか分かるように、〔問〕の番号を付しなさい。

(40点)

〔問〕

- (4) 取消訴訟の対象に関する形式的行政処分論について、形式的行政処分とはどのようなものを例を挙げて説明したうえで、その行政法上の問題について論じなさい。
- (5) 取消訴訟の立証責任について、論じなさい。
- (6) 申請型義務付け訴訟（行政事件訴訟法第3条第6項第2号）における判断の基準時について論じなさい。

Ⅲ 次の〔問〕の(7)～(9)の中から1問を選んで答えなさい。解答には、(7)～(9)のどの〔問〕を選択したのか分かるように、〔問〕の番号を付しなさい。

(30点)

〔問〕

(7) 行政上の義務履行確保手段としての直接強制と、即時強制(即時執行)について、それぞれの意義と両者の相違を説明したうえで、現行制度における問題について論じなさい。

(8) 消防機関による消火活動がなされ、鎮火したように見えて消防車などが引き揚げた後、消火が不十分であったために再び火災が生じ新たな被害が生じた場合に、その消火活動に関して失火責任法は適用されると解すべきか。国家賠償法上の問題について、判例を挙げたうえで、論じなさい。

(9) 公物法における公物管理権と公物警察権について、論じなさい。